

営農企画部

第2回 土壤肥料技術研修 開催

11月29日、農業技術センター会議室において、営農・購買・渉外業務の担当職員を対象とした「土壤肥料技術研修」を開催、46名が受講しました。6月に開催した基礎コースに続く応用コースとしての内容で、土壤分析結果を基にした施肥設計を組合員に説明できるように、左の項目の研修を実施しました。

1. 作物に必要な元素
2. 土壌養分状態の傾向
3. 土壌分析結果表の見方
4. 施肥設計の前に：
5. 施肥設計の演習

肥料名	成分割合 (%)				施肥量 (kg/10a)	成分量 (kg/10a)			
	窒素	リン酸	加里	ケイ酸		窒素	リン酸	加里	ケイ酸
基肥					1,000				
追肥					179				53.7
合計					1,179				53.7
基肥計					25				53.7
NK追肥	20	10			160	32		16	
Pk追肥		10	10		160		16	16	
追肥計					32	16	32		
合計					179	16	32	53.7	

作物別の土壤分析結果と肥料の例を基に、受講生それぞれが施肥設計を行い、その後グループ内でひとつの施肥設計書にまとめあげました。



まとめた施肥設計書はグループごとに代表者によって発表を行っていたのですが、同じ作物であっても、肥料の種類や施肥量が異なるなど、施肥に関する考え方によって様々な施肥設計となることを体験しました。

研修後のアンケートでは、前回と今回の研修を受講したことで、現場での指導や肥料を販売するうえでアドバイスの役に立つとの回答が多くありましたので、来年度もこのような研修を開催する予定です。

園芸部

「鍋奉行も納得 我が家自慢の福鍋・満腹絶倒計画」

〜県産秋冬野菜を自慢の鍋で召し上がれ〜

JA全農福島は今年、寒い季節の定番料理「鍋」を通して本県産秋冬野菜の魅力を広げPRし、消費拡大や風評被害払拭を図る事を目的とし、福島民友新聞社と共に各家庭自慢の鍋レシピを県内で広く募集を行いました。

一次審査としてレシピを募集したところ事務局の予想を超える101組の応募があり、12月7日（水）福島民友新聞社にて書類審査を実施しました。審査員長には「ゴジレ」でおなじみの佐藤文男先生にご協力をいただき、長時間にわたる審査を行って上位入賞者3作品、佳作7作品を選びました。

二次審査では、東部ガス福島支社シヨールーム「エコア」にて、上位入賞者3組に選ばれた3組による調理審査を行いました。各参加者は工夫を凝らした鍋を心を込めて調理し、審査員も真剣なまなざしで、味・アイディア・見た目などを採点していき、その結果、最優秀賞に「え



真剣な表情で作る参加者



受賞おめでとうございます

び・いか・春菊 3種のつみれ鍋」が輝きました。佐藤審査員長からは「鍋に入れる野菜は下ゆでを行うなどのひと手間をかけることより一層鍋の味が美味しくなる。細かい部分の手間を惜しまない事が大事、最優秀賞に輝いた鍋はこの手間をおしまず素晴らしい鍋であった。また優秀賞に輝いた二つの鍋もともに工夫を凝らした美味しい鍋だった」と講評をいただき、レベルの高さがうかがえました。

最優秀賞に輝いた鍋は、年明け1月中旬頃より、県内飲食店等で提供される予定です。JA全農福島としても協力飲食店に本県産秋冬野菜を提供するなど、継続したPR活動を行っていく予定です。

畜産部

ジェラート工房「カザロ」からのお知らせ

「福島の生乳を発信したい！」
「県産物のPRにつなげたい！」
そんな思いからオープンしたジェラート工房「カザロ」ですが、今年で4年目を迎えました。

JA農産物直売所「愛情館」・福島牛焼肉「牛豊」と同じ敷地内にあるジェラート工房「カザロ」では、農家から直送された新鮮な生乳を使用し、専属のパティシエがひとつひとつ丁寧にジェラートを作り上げています。愛情館から仕入れた果物や野菜を使用したジェラートは、季節限定品のいち



ごやアスパラガス、あかつき(桃)、えだまめ、あづましずく(ぶどう)、かぼちゃ、りんごなどがあります。愛情館の一角にジェラートコーナーがあり、定番のミルク、抹茶をはじめ季節限定のジェラートが食べられます。今の時期は、鮮やかな黄色が目を引きさつまいもがおススメ。優しい甘みとさつまいも本来のおいしさを生かした素朴な味をぜひお試しください。

平成28年5月から、120mlカップの製造もはじめました。カップジェラートは、ミルクをはじめとする定番品のみですが、カザロのジェラートの美味しさをPRするために、県外でも販売しています！

県産生乳を生かして、ジェラートのおいしさをより多くの方々に知っていただくために、今後もカザロは愛情込めてジェラートを製造していきます。ぜひご賞味ください。

カザロのジェラートはJAタウンでもお買い求め頂けます。http://www.ja-town.com/shop/g/2501-2501A0001/

JA全農北日本くみあい飼料株式会社

平成29年度配合飼料安定基金加入について

〜日本の畜産経営をみんなで支える配合飼料安定基金制度

配合飼料価格安定制度は、輸入飼料原料に由来する配合飼料の短期的で、かつ急激な変動が畜産経営に与える影響を緩和することを目的とした制度です。

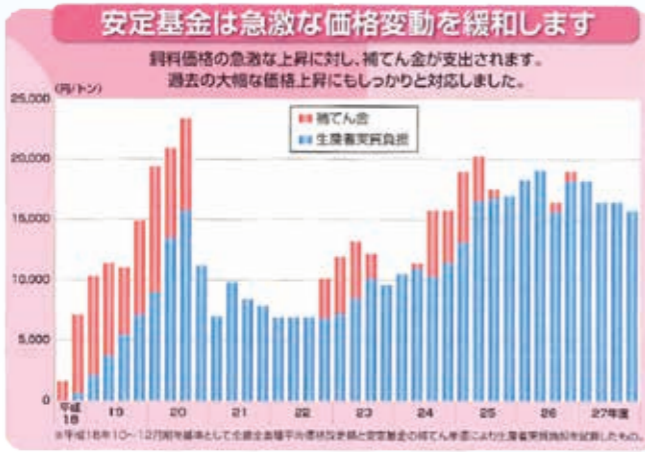
①安定基金は急激な価格変動を緩和します。

飼料価格の急激な上昇に対し、補てん金が支出されます。過去の大幅な上昇にもしっかりと対応しました。

②皆様の積立金が基金制度を支えています。

四半期ごとに積立金を納入し、価格上昇時の補てんに備えます。近年の実績では、生産者積立金を上回る補てんが行われています。安定的な制度運営のためには皆様の継続加入が必要になります。

配合飼料安定基金はこれからも畜産経営の強い味方です。



加入はお早めに

JA全農北日本くみあい飼料株式会社、鳥インフルエンザ発生による防疫体制強化に取組んでいます。

お問い合わせはお近くのJAグループ窓口へ JA/JA全農/JA全農北日本くみあい飼料